



光 和

3月号
練馬区立光和小学校
令和5年2月28日

光和小
携帯サイト



夢に向かって

校長 矢島 直行

校庭の桜の蕾も膨らみ、花を咲かせようと準備をしています。日差しも暖かくなり、春の訪れを感じるようになりました。

本校には60年近く子供たちを見守ってきた桜の木が数本ありましたが、3年前に練馬区の調査により、倒木の恐れがあるとのことで3本の木が伐採されました。その後、3本の桜の木が新しく植えられました。そのうち1本は、令和2年度卒業した6年生の思い出づくりとして植樹した桜の木です。この年はコロナ禍1年目で、感染症対策のために移動教室をはじめ運動会や水泳など、これまで当たり前のように行っていた教育活動や学校行事が中止及び変更となったため、思い出づくりの一環として行われたものです。小学校生活最後の6年生の学校生活が制約のあるものとなりましたが、できる活動を皆でしっかりと取り組んだ経験はこれからの長い人生で必ず生かされることと信じています。

新しく植えられた桜の木は、それまでのソメイヨシノからジンダイアケボノに品種が変わりました。これから10年、20年と光和小学校の子供たちのことを見守ってくれます。

さて、学校ではこれから6年生を中心とした行事が行われます。3月3日（金）に、「6年生を送る会」が校庭で開催されます。3年ぶりに全校児童がお互いに見合います。今までお世話になった6年生への感謝の気持ちが伝わる温かい会にしたいと思います。

また、3月16日（木）に6年生の「感謝の会」が行われます。6年生の子供たちが今までお世話になった保護者の方々への感謝の気持ちをマーチングの演奏などを通して表します。下級生のよき手本となった6年生は、小学校の6年間で着実に成長し学校の顔として活躍することができました。子供たち自身の努力や頑張りもあります。しかし、忘れてはいけないことは多くの方々の支えがあったことです。卒業する6年生には、本校で学んだことを生かしながら、これからも感謝の気持ちを忘れず、自分の夢に向かって努力を積み重ね挑戦してもらいたいと願っています。何かを成し遂げるためには、絶えず自分で考え、努力と実現させようとする強い意志が大切です。

6年生だけではなく、全児童に言えることですが、夢や目標は途中であきらめてしまったら、その時点でかなえることはできません。遠回りをしてでも自分の夢をあきらめずに頑張ることにより、夢をかなえることができます。もし図らずも夢がかなわない場合でも、その目標に向かって努力したことは、決して無駄にはなりません。

本年度も残り1か月となります。この3月を計画的に新年度に向けての準備に取り組んでいけるようにしたいです。